

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2022 -50	2022/1/1	Better, Faster, Cheaper Ship Maintenance—Now!	正しく、早く、安い艦のメンテナンスを、今すぐ	Proceedings 2022/1/1	 いまここにあるデジタル技術を艦船整備に早急に应用することを若手士官が連名で提言しています。 プロシーディングス誌 2022 年1 月号から。	岩崎洋一
2022 -51	2022/4/1	Prepare for Contested Logistics	脅威下での後方支援に備える	Proceedings 2022/4/1	 US-2 救難飛行艇をロジスティックスに活用してはどうかという、プロシーディングス誌4 月号の記事です。 新明和US-2 の価格がもう少し安ければいいのですが・・・。	岩崎洋一
2022 -52	2022/4/13	Russian Navy Confirms Severe Damage to Black Sea Cruiser Moskva, Crew Abandoned Ship	ロシア海軍が黒海艦隊の巡洋艦「モスクワ」の大損傷を確認、乗員は艦を放棄	USNI News 2022/4/13	 USNI Newsからウクライナ最新情報です。	岩崎洋一
2022 -53	2022/4/14	UPDATED: Russia Says Damaged Cruiser Moskva Sank Under Tow Headed to Black Sea Homeport	最新版:ロシアは損傷した「モスクワ」が黒海の母港へ曳航中に沈没したと発表	USNI News 2022/4/14	 続報です。同艦が沈没したと、僚艦は黒海南方に退避したという情報が目新しいところ。 昨日の訳で、オデッサ州知事の発言があいまいだったのですが、新訳(正しいかどうかは?)によれば、スネーク島周辺で活動していた同艦が被弾して、セヴァストポリルに向けて曳航されていた途中で沈没した模様です。 もし今回の事象がウクライナ側の対艦ミサイルによるものであれば、おそらく今後、ロシア艦の活動はクリミア半島以西では不活発になるのではないのでしょうか。	岩崎洋一
2022 -54	2022/4/14	U.S. Navy Conducts Historic Test Of New Laser Weapon System	米海軍が新型レーザー兵器の歴史的な実験を敢行	Naval News 2022/4/14	 レーザー兵器によるミサイル防御が現実味を帯びてきています。 4 月 13 日に米海軍は、ホワイトサンズ試験場での実験が今年 2 月に成功したことを公表しました。	岩崎洋一
2022 -55	2022/4/17	Analysis: Chain Of Negligence Caused The Loss Of The Moskva Cruiser	分析:過失の連鎖が巡洋艦Moskva喪失の原因となった。	Defense News 2022/4/17	 ロシア黒海艦隊旗艦Moskvaがウクライナ軍の新型対艦ミサイルで攻撃され、火災の末沈没したというショッキングなニュースがありました。ロシアの大型軍艦が撃沈されたのは実に日本海海戦以来だとか。たった2発の対艦ミサイルで大型巡洋艦が沈没する理由はいまだよくわかっていません。	佐々木司
2022 -56	2022/3/22	The National Shipbuilding Strategy and the future of the Royal Navy	国家造船戦略と英海軍の将来	NAVY LOOKOUT 2022/3/22	 先日ご紹介した、英国の“Refresh to the National Shipbuilding Strategy (NSbS (国家造船戦略))”は3月10日に発表されましたが、その海軍艦艇建造について、批判的な姿勢で検証しているのが本記事です。英国家造船戦略は全面的に見直されたうえ、Type26が豪州とカナダに、Type31がインドネシアとポーランドに、それぞれ輸出が成功し、英国の艦船建造業界の前途は洋々たるようになっていました。しかし、予算の見通しや造船所の各種能力については、依然、不確定要素が多いようです。確かに数十年先までの建造計画と予算を約束することは難しいですが、計画を立て、線画を引かなければ、更に実現することは少なくなるでしょう。大切なのは、変化する情勢に柔軟に対応して、大目標は堅持しつつも、計画を逐次見直ししていくことなのだと思う次第です。その点、今回の英戦略の更新は、情勢変化に合わせたもので、かつ、重層的な内容であることは間違いないと思います。これまでも増して、成果が得られてくるものと予想されます。	本山泰之

整理番号	発刊日	Title	タイトル訳	出典	所見等	情報提供者
2022 -57	2022/4/7	PATRICK ATTACKS SUBS CONSTRUCTION BACKFLIP	潜水艦建造の方針転換を攻撃	Australian Manufacturing Forum 2022/4/7	 <p>単なる原子力潜水艦の建造の技術的な難しさからの判断だけでも言えないようですが、自国建造の方針が転換される可能性もありそうです。モリソン首相は、AUKUS協定の下で、豪州は原子力潜水艦を輸入する可能性があると言ったようです。潜水艦の抑止力の有する必要性は、国内建造をする必要性を上回っているということです。また、選挙も近いということもあり、様々な憶測があります。モリソン首相が原子力潜水艦を海外で建造すると発言することは、主要な野党である、労働党と緑の党とを分断する「楔」効果もありそうです。依然、米英どちらの技術を主体に建造を進めるかも明確ではなく、建造施設も未完の状態であり、早期の判断が求められます。</p>	本山泰之
2022 -58	2022/4/19	New Navy Long Range Shipbuilding Plan Calls for Decommissioning More Cruisers, Littoral Combat Ships	米海軍の新たな長期建造計画は巡洋艦とLCSをさらに退役させる	USNI News 2022/4/19	 <p>2023年度の米海軍30年建造計画です。今までにはなかった3通りのオプションが示されています。</p>	岩崎洋一
2022 -59	2022/4/22	Russia Deploys Unusual 110-Year-Old Ship To Investigate Moskva Wreck	モスクワの海難を調査するため、ロシアは、艦齢110年の珍しい艦を派遣する	COVERT SHORES 2022/4/22	  <p>艦齢110年の潜水艦救難艦が稼働状態にあるとは驚きです。どうやって維持整備をしているのか興味があります。</p>	川原梅三郎